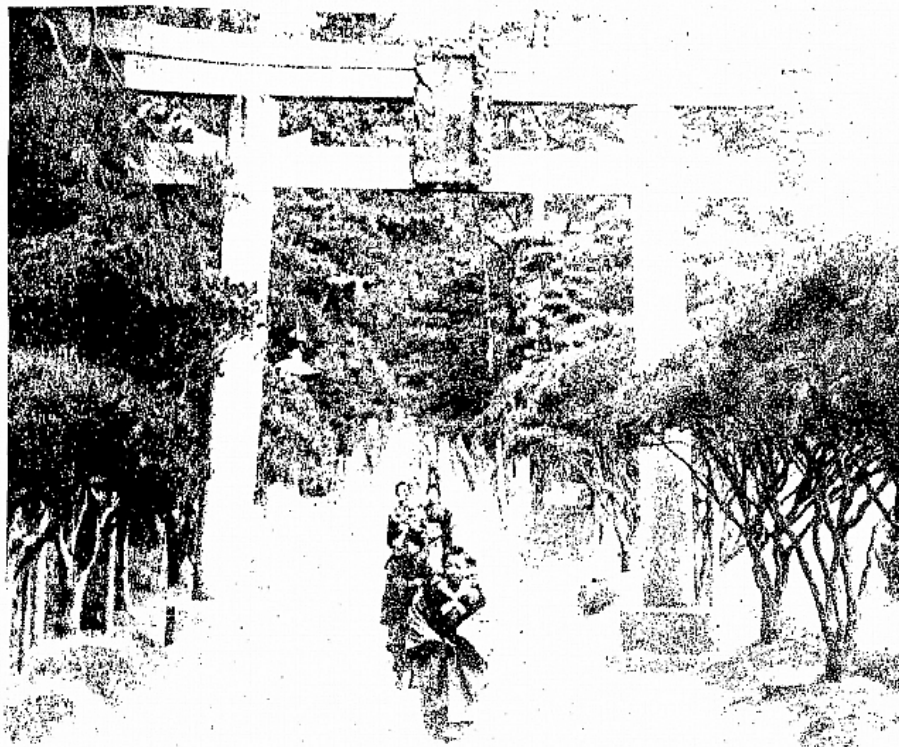


平成19年10月21日(日)

第33回 越谷市民まつり

越谷市郷土研究会 展示出品紹介

於 越谷市中央市民会館4F



越ヶ谷久伊豆神社の景

増林の御茶屋御殿

加藤 幸一

越谷市御殿町には、徳川家康が鷹狩（たかがり）のために立ち寄りて休息するための、幕府の御殿があった所である。

越ヶ谷の御殿町に御殿ができる以前は、徳川家康は鷹狩で増林の茶屋御殿に立ち寄りていた。増林にあった茶屋御殿が、当時の奥州街道（吉川橋下流の中川から元荒川の右岸に沿った自然堤防上の道）筋の元荒川そば、現在の御殿町に移されたのは、「徳川実紀」によると江戸時代初めの慶長九年（一六〇四）のことである。

移される前の増林の茶屋御殿はどこにあったのか。越谷市教育委員会発行の「越谷市の文化財」では、「この林泉寺周辺は、徳川家康が設置した御茶屋御殿が建てられていた所であった」としている。増林の茶屋御殿に関して、その他にロマンをかきたたせる『城之上』説が地元にあるので、これも含めて紹介をしたい。

1. 本木三臣御殿は「林泉寺」

林泉寺に「御殿境内」と刻まれた標識石塔がある。「御殿」とは、慶長九年まで増林にあった茶屋御殿を指す。すぐそばには古利根川が流れ、水上交通の便利な所である。この石塔の造立年代がわからないのが残念である。

その石塔に刻まれた内容を次に紹介する。

◎「御殿」文字付き巡礼標識石塔

所在地 増林・林泉寺境内の観音堂前

以前は山門そばに六阿弥陀の石塔と対になって置かれていた

石塔型式 角型 *（南東向き・高さは中）

年号 不詳

〔左側面〕

増林村林泉寺

〔正面〕

正観音武州順徳

〔右側面〕

第三十一番

〔裏面〕

御殿境内

なお、林泉寺には、越谷市の文化財の指定を受けた「駒（こま）止めのマキ」がある。

徳川家康が鷹狩に来たときに、このマキの木に馬をつないだとの言い伝えが残っている。

推定樹齢は四〇〇年前後と言われている。

2・地元の『城之上』説

昭和四十五年三月、越谷市発行の「こしがや」に掲載された年表の中には「慶長9年越ヶ谷御殿が建てられる。増林字（あざ）城の上より移す。」との記述がみられる。増林の茶屋御殿は、この時点までは、言い伝えから『城之上』にあったとされていた。

今井基善（もとよし）氏「増林三二五九」によると、「『城之上』には、昔、將軍様が狩り（鷹狩）に来た時に利用する『お狩場（かりば）茶屋』があって、將軍様が来ることから、このあたりを（城という字を使って）『城之上』と名付けられた。」との昔からの言い伝えがあったという。この「お狩場茶屋」は、狩りをする時の休憩所という意味で、幕府の茶屋御殿であったに違いないと思われていた。小島初治（はつはる）氏「増林一一一、旧・増林村城之上」は、今でもそのように理解している。地名に「城」の字が付いていることから、「ここに何か城のような重要な施設、お狩場茶屋があった。」と思われるのであろう。

さらにその場所を野口豪氏「現、東越谷一〇一〇六一一、旧小林村上側（かみかわ）」によると次の通りである。

野口宅の北東方向一〇〇メートル先の、増林村城之上と小林村上側との境界付近の小林村側に、通称「上屋敷（かみやしき）」（現在の東越谷一〇一〇八）と呼ばれた土地がある。「上側」は「上屋敷の側（そば）」という意味ではないかとし、小林村側ではあるが、由緒ある茶屋御殿跡に後世になって上屋敷と呼ばれる建物ができたのであろうと推定している。

この上屋敷の地は、古川（かつての元荒川）の左岸（南側）そばにあり、水上交通としては便利な所であったのであろう。野口豪宅の裏（北側）は、高い土手が古川に沿って続き、その先に古川が東から西へ流れ、東越谷小学校の校舎あたりを通り、現在の元荒川へとつながっていたのである。

なお、元荒川が天嶽寺前から小林村まで現在のように直道に改修されたのは、茶屋御殿が移された後の寛永年間頃と推定されている。それゆえに茶屋御殿があったのは、元荒川が花田村を迂回して流れていた頃のことであるが、「城之上」説には、「御殿」と刻まれた石塔などの物証がないのが残念である。しかし、この古くからの言い伝えも何か根拠があって言われてきたのであろうから無視はできないのである。

江戸時代初期頃の「城之上」の範囲は、もしかしたら現在よりもはるかに広がったかもしれない。そのように仮定すると、古利根川の自然堤防上に位置する林泉寺にあったとされる茶屋御殿も、地元で言い伝えられてきた城之上説と矛盾が生じないし、かつての元荒川筋である古川（今はない）の自然堤防上に位置する地であったのではないかと考えている野口豪氏の説も理解できるのである。

大正時代 越ヶ谷久伊豆神社の絵葉書

原田民自

越ヶ谷久伊豆神社の景『写真1』今から約九十年前の越ヶ谷久伊豆神社の参道を写した絵葉書である。これは昨年、九州の福岡市から手に入れたもので、宛名面に「大正時代」と記されている。久伊豆神社の参道の長さは、およそ五〇〇メートルあり、右側の参道と並行の側道は、現在では乗用車がすれ違えるほどの広さになっている。絵葉書では、おどいひもで赤ん坊を背負っている子供が数人見られ、神社周辺がこの子たちが子守をする散歩道になっていたと想像できる。

正面の花崗岩で出来た「一の鳥居」の製作年代は摩滅していて解らないが、掲げられた石の額には「正一位久伊豆大明神」と記されている。

鳥居の左の柱の奥に見える塔は、新町五番組奉納の台座ごと三メートル余の「御神燈」で一对ある。製作年代は文政十一年（一八二八）。ここをしばらく進むと、文久二年（一八六一）製作の石橋があり、さらに石橋を渡って進むと本殿（拜殿）などの主要な建築物がある。大正時代の本殿はかやぶき屋根であった。

越ヶ谷久伊豆神社の藤『写真2』藤の盛りの五月ごろに境内池側から撮られたもので、左側の建物は神社の案内図によると「参集殿」という。その脇は「車清祓殿」という建造物。現在でも同じ位置に同様な建物が見られるが、形が変わっているので現在の建物は絵葉書が撮影された以後に再建されたもの。「参集殿」の隣にかやぶき屋根の本殿があったが絵葉書では写っていない。本殿は戦後しばらくして、かやぶき屋根から現在見られるように瓦屋根に変わった。

NPO法人・越谷市郷土研究会とは

(平成19年9月現在)

◎史跡めぐりなどのイベントを毎月実施し、毎年、越谷市民まつり・越谷市民文化祭・こしがや文化芸術祭に展示部門で参加しております。

◎当会は、昭和40年(1965)3月に発足し、平成16年にNPO法人になりました。現在は会員数が300名を超える大所帯です。

ほぼ毎月行われる史跡めぐりは371回を数えるまでになりました。

◎当会の最近の主なイベントをあげますと次のとおりです。

平成18年 8月26日(土)見田方遺跡発掘40周年記念講演会(越谷市教育委員会との共催)

平成18年 9月30日(土)鹿沼:絢爛の彫刻屋台と川上澄生美術館を訪ねる

平成18年10月 9日(月)大間野・旧中村家のイベント(越谷市教育委員会との共催)

「昔懐かし!とうかんやのわらでっぼう」

平成18年10月28日(日)今も残る田園風景「野島・三野宮」を訪ねる

平成18年11月 5日(日)埼玉のお神楽をみよう・さいたま芸術劇場芸能公演

平成18年11月14日(火)大間野の旧中村家保存民家開館2周年記念イベント

「昔の遊びで遊んでみよう!」

平成18年11月28日(火)バス史跡巡り:伊勢原と大山参り

平成18年12月11日(月)建長寺で座禅体験そして初冬の北鎌倉を訪ねる

平成19年 1月 3日(土)日本橋七福神めぐり

平成19年 1月28日(日)歴史講演会「画家・斎藤豊作 越谷からパリへ」(越谷市教育委員会との共催)

平成19年 2月10日(土)春を待つ神明・西新井を訪ねる

平成19年 2月17日(土)大間野・旧中村家のイベント(越谷市教育委員会との共催)

「親子で作ろう!かわいいおひなさま」

平成19年 3月30日(金)バス史跡巡り:岩宿遺跡、国定忠治の墓、三日月村

平成19年 4月24日(火)埼玉鴨場見学と「ほっと越谷」での男女共生参画の話

平成19年 4月27日(金)醤油がつくった野田の文化と歴史散歩

平成19年 5月19日(土)蒲生から平和橋までの散策、蒲生一里塚、葛西親水緑道

平成19年 6月 9日(土)江戸情緒の個島と文明開化の築地を訪ねる

平成19年 6月24日(日)映像でみる「懐かしの越谷」

平成19年 7月24日(火)川口・SKIPシティ(アーカイブス)見学

平成19年 7月26日~8月6日 越谷市立図書館「日本一の力持・三ノ宮卯之助」展

平成19年 8月25日(土)講演会「生誕二百年・三ノ宮卯之助」(越谷市教育委員会との共催)

平成19年 9月29日(土)ロマン漂う行田:足袋とくらしの博物館、忍城博物館

◎会報『古志賀谷』の隔年の発行(B5版、百十~百五十頁程度)及び無料配布(会員)
※なお、以上の他に、越谷市社会福祉協議会への寄付・文化財パトロールの活動なども行っております。また、学校や自治会、各団体などへの出前授業も承っております。

郷土研究会にお入りになるには

◎会費は、年間2千円(4月~翌年3月、会報・諸案内状・諸会議費等)です。どなたでも気楽に入会できます。市外の方でも歓迎致します。

◎申し込みは、はがきに「平成何年度より入会」とお書きのうえ、住所・氏名・電話番号をご記入し、下記までお寄せ下さい。または当会の各種行事の際にお申し込み下さい。

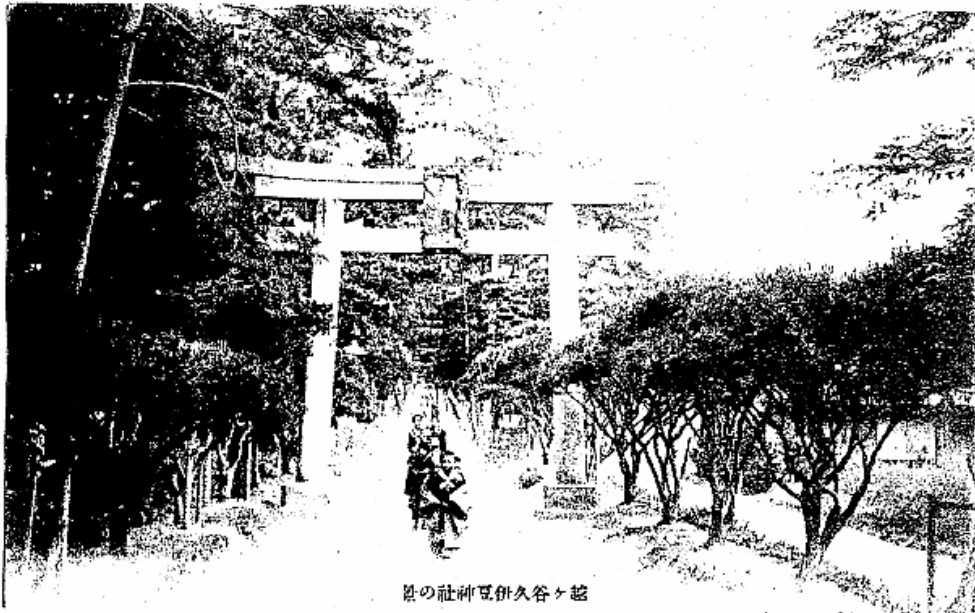
〒343-0041 越谷市 千間台西 2-17-16 宮川 進 方

NPO法人・越谷市郷土研究会

☎048-975-9139

事務所:旧日光街道沿いにある越谷産業会館の道路斜め反対側、
チャレンジショップ「夢空感(ゆめぞら)」内にあります。

写真1



藤の社神豆伊久谷ヶ越

写真2



藤の社神豆伊久谷ヶ越